

第59回「協同教育研究会」開催のご案内

研究会代表 安永 悟
(久留米大学 文学部)

寒中お見舞い申し上げます。皆様、お元気ででしょうか。

今年は元日早々、能登半島で大地震が発生して多くの方が被災されました。お亡くなりになられた皆様に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地では余震が続き、厳しい寒さの中、多くの皆様が不自由な生活を余儀なくされていることを思うと胸を締め付けられる思いです。また、被災地支援にご尽力いただいている皆様には心より敬意を表します。一日も早い復旧復興を祈念しています。

*

さて、第59回「協同教育研究会」の準備が整いました。詳しい内容は下記の通りです。今回も「対面」で実施します。研究会の後、久しぶりに飲食を伴う情報交換会（懇親会）も開催します。皆様の参加をお待ちしています。

参加を希望される方は、協同教育研究所のホームページ（HP）から申込をお願いします。これまで同様、当日参加も受け付けます。案内が直接届いていない方も歓迎します。

ただし、感染症予防のために当日体調不良の方や体温が37度以上の方は参加できませんのでご了解ください。参加される方は感染予防の徹底をお願いします。

なお、本研究会は久留米大学比較文化研究所の後援を受けています。また、初年次教育学会の「初年次教育実践交流会」、日本協同教育学会の「九州地区研究会」、全国個集研の「支部研究会」としても認めていただいています。

記

1. 日 時 : 研究会・2024年2月17日(土) 14時00分～17時20分
(情報交換会・18時00分～20時00分)
2. 場 所 : 久留米大学御井本館3階 13BC 教室
キャンパスで一番大きな建物の3階です。
<http://www.kurume-u.ac.jp/soshiki/3/access.html>
3. 参加資格 : 協同教育（学習）および「協同」一般に関心のある方
4. 参加申込 : 協同教育研究所「結風」のHP (<http://yuikaji.me/>) の「イベント参加受付」からお願いします。記入にあたっては（注意）を参考にしてください。

(注意) ・ イベント名 : 「協同研59回」 ・ イベント開催日 「2024/2/17」
・ 携帯電話番号はハイフンなしで。例「09012345678」
・ 返信がない場合は下記「問合せ先」まで連絡ください。

5. 研究会のテーマ： 「LTD授業モデルによるAL型授業の質向上」

今回の研究会では、LTD授業モデルに依拠した授業づくりの成果を報告します。そのなかには、「LTD授業モデルによるAL型授業の質向上」（科研費基盤C、課題番号21K02845、代表・安永）に基づく研究成果も含まれています。本研究は3年計画の最終年度を迎えました。この間に開発・実践したAL型授業とその成果の一部を報告します。加えて、久留米大学医学部で展開している協同学習による授業づくりの一端もあわせて報告いただきます。これらの実践報告をもとに、AL型授業のより一層の質向上にむけて、参加者の皆さんと意見交換をおこないます。

6. 研究会の内容

(1) 挨拶・導入

a. 担当： 安永 悟（久留米大学・文学部） 35分(14:00-14:35)

b. 内容：

- ① 挨拶と学びの場づくり
- ② LTD授業モデルの説明

協同教育の理論と方法に基づく本モデルの構成と具体的な授業計画を紹介します。そのうえで以下に報告される実践例の位置づけを明らかにします。

(2) 実践報告1「協同学習による講義・実習へのはじめてのチャレンジ」

報告20分+意見交流20分 (14:35-15:15)

a. 担当： 増田 宏（久留米大学・医学部・環境医学講座）

b. 内容： 久留米大学医学部では協同学習を取り入れたカリキュラム開発や授業づくり に力を入れており、このことは医学教育分野別認証評価においても高い評価を得ています。久留米大学医学部環境医学講座では、過去の講義・実習について見直し、科目「協同学習」の授業構造を意識した講義・実習を2年ほど前から取り入れています。「にわか協同学習挑戦者」としてはじめて取り組んだ協同学習の授業実践について報告します。

(休憩15分)

(3) 実践報告2「LTD授業モデルによる授業開発とその成果」

a. 担当： 安永 悟・小松誠和（久留米大学・医学部・免疫学講座）

b. 内容：

- ① 浦添看護専門学校での実践（安永） 報告20分+意見交流20分 (15:30-16:10)

浦添看護では、2022年度の学習指導要領の改訂を見越して、2021年度からLTD授業モデルによる授業づくりを本格化しました。2021年度の試行的試みを経て2022年度から初年次教育科目「学びの基本」を展開しています。今回の報告では、協同に基づく探究活動（協同探究活動）を組み込んだ授業内容とその成果について報告します。

- ② 久留米大学医学科における実践（小松） 報告20分+意見交流20分 (16:10-16:50)
医学科では7年前（2017年度）から協同教育に基づく初年次教育科目「協同学習」を導入しました。本実践においてはLTDに依拠した問題基盤型学習法、つまりLTD型PBLを実践しています。本報告ではその成果と問題点について報告します。

(4) 全体交流 25分 (16:50-17:15)

ここでは上記の報告に基づき参加者全員で交流をおこないます。

その際、協同学習の「縦のつながり」と「横のつながり」に着目したいと思います。もともとLTD授業モデルが対象としてきた専門学校や大学における初年次教育科目に加え、高校での「総合的な探究の時間」や、大学での専門教育科目への活用といった学校種や学年を越えた「縦のつながり」が見られます。また一方では、同時に開講している他科目における展開といった「横のつながり」も見られます。このような協同学習による授業のつながりの観点からの検討も期待しています。

(5) 閉会 5分 (17:15-17:20)

7. 情報交換会（懇親会）のお知らせ

研究会終了後、下記の要領で情報交換会（懇親会）を開催します。

参加希望者は上記「4.参加申込」と合わせて2月9日（金）までに、協同教育研究所「結風」のHPから申し込んでください。

場所：久留米大学御井学舎学生会館2階・レストラン「櫛（けやき）」

時間：18時00分~20時00分

会費：4,500円

(注意) 直前の取り消しには応じかねます。参加されなくても参加費を徴収することがありますので、予めご了承ください。

問合せ先：ご不明な点があれば、次までお願いします。

office@yasunaga.me

以上